

CASBEE® 広島

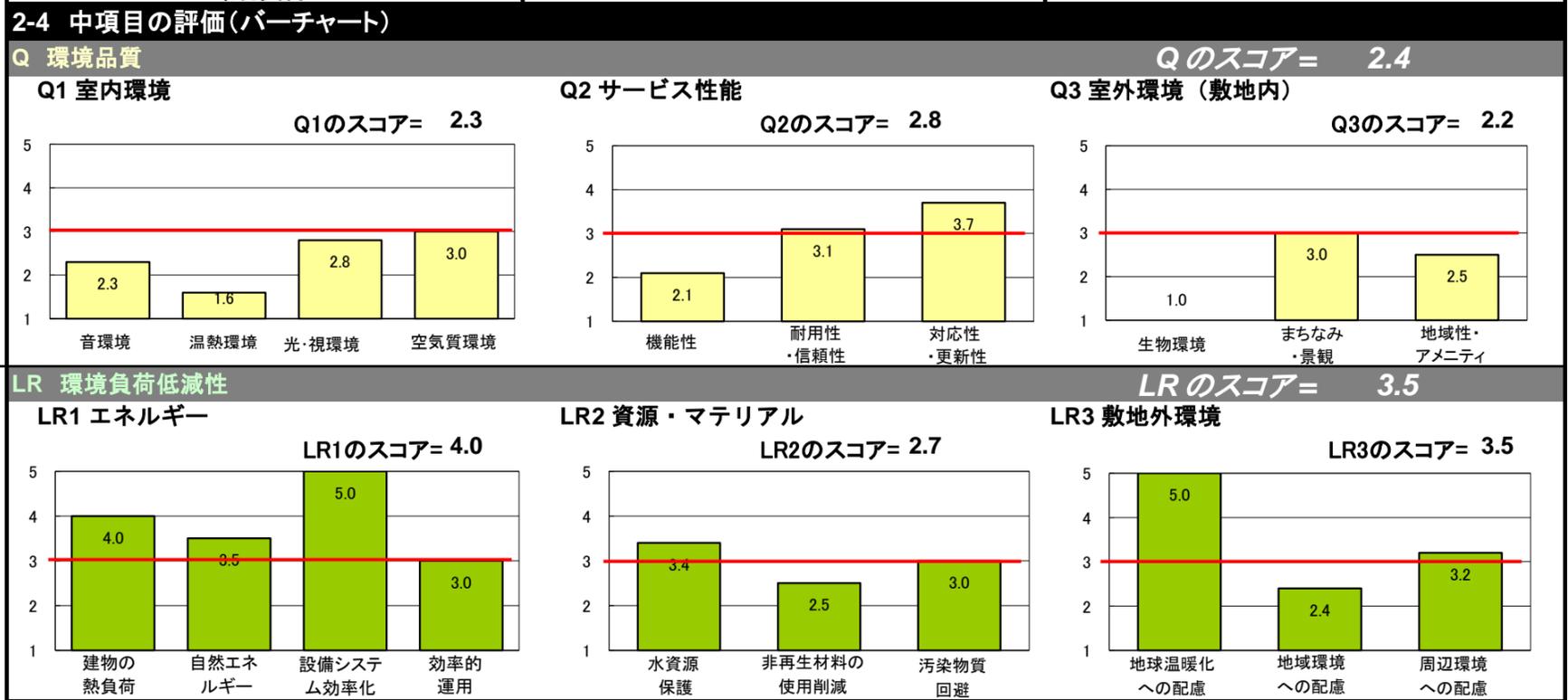
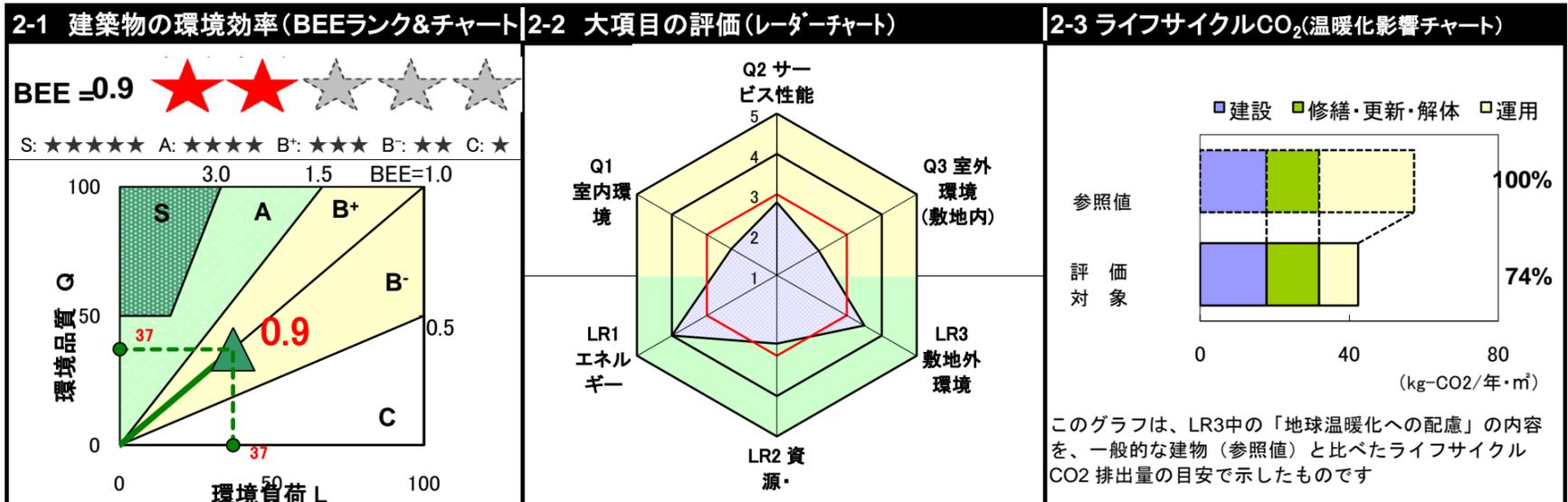
(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	S&Cプロジェクト(B工区)製缶棟	階数	地上2F
建設地	広島市佐伯区五日市港2丁目2番	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	120 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年2月 予定	評価の実施日	2011年9月14日
敷地面積	100,060 m ²	作成者	鹿島建設(株)中国支店
建築面積	11,752 m ²	確認日	
延床面積	12,324 m ²	確認者	



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.3

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.7	スコア = 1.8	スコア = 3.2
設計の計画上特段に配慮した事項 PAL=246.4 / トップライトによる自然採光 / LEDダウンライト, Hf蛍光灯, 照明の人感センサー制御 // 節水型器具の採用 / ライフサイクルCO ₂ 排出率=74%	設計の計画上特段に配慮した事項 / 駐輪場150台確保/駐車場付置義務による協議を実施/車路部分に待機・荷降ろしスペース確保	設計の計画上特段に配慮した事項 塩害対策機器を採用 / 工場内配管・ケーブルラックは構造部材を傷めずに直接支持/OAフロアを採用/底上を室外機置場として利用可能

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される